

The Conquest of Happiness

幸福論

(i)

In some work, though by no means in most, something is built up which remains as a monument when the work is completed.

(ii)

(···) The work of construction (···), when completed is delightful to contemplate, and moreover is never so fully completed that there is nothing further to do about it.

(iii)

The most satisfactory purposes are those that lead on indefinitely from one success to another without ever coming to a dead end;

解説

(i)

日本語訳

いくつかの仕事においては、仕事がやり遂げられる時に一つのモニュメントとして残る何かが築かれる。もっとも、多くの仕事においてはそうではないが。

単語・熟語

though : もっとも～だが

by no means : 決して～しない

構文

though by no means in mostの部分がちょっとわかりにくいかもしれませんね。まずはこのthoughですが、これは「もっとも～だが」という意味で、補足的に言葉を付け加える表現です。

ex) I found a bar, though(,) it was closed.

バーを見つけたんですよ、もっとも閉まっていたが。

(ウィズダム英和辞典より引用)

この例文を見るとthoughの意味がよりわかるのではないのでしょうか。

次にin mostの部分ですが、これは熟語でも何でもなく、ただmostの後ろにworkが省略されているだけです。したがって、though by no means in mostは「もっとも、多くの仕事において決して～ない」となります。

ただ「～」に当たる部分がthough by no means in mostには見当たらないですよ。実はここでは主節であるsomething is built up which remains as a monument when the work is completedが隠されているのです。

In some work, though (something is) by no means in most (built up which remains as a monument when the work is completed), something is built up which remains as a monument when the work is completed.

上の括弧内が隠されているものです。見てわかるように文としてはよくないですよ。それは同じことが何度も繰り返されているからです。英語ではこのように同じことが繰り返される場合省略します。先のin most workも同じ理由で省略されています。

省略を見抜くことは読解において避けては通れませんので、多くの英文に触れて省略を見抜く力を養いましょう。英文つまみ食いでは以前省略について解説しましたので、そちらも参考にしてみてください。

関連ページ：驚きの省略を含む早稲田の英語を英文解釈してみましよう

(ii)

日本語訳

建築という仕事はそれがやり遂げられた時にじっと見つめて楽しむことができ、その上これ以上すべきことは何もないというほど完全にやり遂げられることは決してない。

単語・熟語

contemplate : を熟考する/想定する/じっとみつめる、凝視する

構文

when completedとなっていますが、ここでもまた省略が行われています。その省略を補うと when the work of construction is completed となります。これまでと同様、同じことを繰り返さないように省略されているのですが、be動詞も一緒に省略されていることに注意してください。whenだけでなくifやthoughなどが導く副詞節内では、主節の主語と同じ主語(今回の場合the work of construction)、そしてbe動詞は省略されるという規則があり、今回はこの規則に基づいてbe動詞も省略されているのです。

to contemplateは副詞的用法の不定詞です。delightfulという感情の原因を不定詞によって表しています。例えば、Nice to meet you. でも同じ不定詞が使われていますね。不定詞については「もう怖くない！ 長文読解における不定詞を攻略！」で詳しく解説しましたので、興味のある方はそちらを参照してください。

and moreover以下で使われているのは受験でおなじみのso...that～「あまりに…なので～だ/～なほど…だ」ですね。受験で頻出であるこの構文ですが、実は「あまりに…なので～だ」という訳で覚えているとたまにうまく訳せないことがあります。今回の文はまさにそうですね。「(建築という仕事は)あまりに完全にやり遂げられることが決してないので、それ以上すべきことは何もない」と訳してしまうと意味が変わってきてしまいます。今回のように否定文になると「あまりに…なので～だ」という訳が使えなくなってしまうので、汎用性の高い「～なほど…だ」で覚えておきましょう。

(iii)

日本語訳

最も満足できる目的とは、絶対に行き止まることなく、一つの成功から次の成功へといつまでも続く目的である。

単語・熟語

indefinitely : 無期限に、いつまでも続く

lead on to : に通じる

ever:[否定文で](未来について)これから先絶対に～ない、(過去について)これまで～ない、(現在について)いつもは～ない

dead end : 袋小路、行き止まり、行き詰まり

構文

thoseはpurposesです。関係詞節や前置詞句などで修飾されている場合、単数ならthat、複数ならthoseで置き換えます。

ex)The climate of Japan is milder than that of England.

日本の気候はイギリス(の気候)より温暖だ。

(デュアルスコープ総合英語より引用)

この文、もしくはこれに似た文を既に見たことがある方はいらっしゃるでしょう。受験でよく聞かれるところですね。「日本の気候はイギリスより温暖だ」という日本語につられて、that ofを書かない方が多いので注意しましょう。